

給水開始80周年

参加費無料

問 水道課 ☎85・1178
浄水場管理事務所 ☎41・2250

記念イベント

11/10

日 時 午前10時～
(開場:9時30分～)

場 瀬戸蔵

給水開始80周年を記念し、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん!ぜひご参加ください。

A

つばきホール

■ 川の調査隊研究発表 古瀬戸小学校

時 午前10時～

■ 水のおもしろサイエンスショー

時 午前11時～正午



阿部 清人 先生
(サイエンスインストラクター)

B

市民ギャラリー・屋外広場

■ 水道の歴史～パネル展示

■ 国内各地の水道水飲み比べ

(札幌・神奈川・北九州・瀬戸)



甲 A つばきホールには入場整理券が必要です。事前に、はがき・FAX・Eメールで①郵便番号②住所③氏名④参加人数(5人まで)を記入し、お申し込みください。後日、入場整理券を郵送します。

◆送付先 〒489-0889 原山町1-7
水道課「水道80周年イベント」係
FAX 85・1195
Eメール suido@city.seto.lg.jp

※メールの件名は、「水道80周年イベント」としてください。

◆定員 300人(先着順)

◆締切 10月25日(金)必着

参加者には記念品をプレゼント!

本イベントは、(公財)せとしん地域振興協力基金の助成を受けて実施しています。

瀬戸の水道の歴史

市の水道は、昭和8年に馬ヶ城浄水場が建設され、中心市街地への通水を開始してから80周年を迎えました。昭和33年に原山浄水場、昭和49年に蛇ヶ洞浄水場が完成し、県からの水と合わせて、現在では1日に約4万トンもの水を配水し、水道は私たちの毎日の生活に欠かせないものとなっています。

昭和初期の瀬戸は、やきもの産業が発展を続けていましたが、当時は沢水を汲むだけの簡易水道や井戸しかなく、市民が安心して飲める水の確保は不十分で、窯焼き作業による火事の心配もありました。

こうした中、昭和6年に馬ヶ城の貯水池と赤津川・東山路川を水

源とする水道施設の建設に着手しましたが、当時は大型建設機械などなく、主に人力による作業であり、2年余りの難工事の末に完成しました。

私たちの今の豊かな生活があるのは、先人が流した尊い汗と涙のおかげであり、今を生きる私たちも次世代に何を残すべきかを常に考え続けていく必要があります。



▲建設中の馬ヶ城ダム



▲中心市街地への水道管理設工事



▲現在の馬ヶ城ダム